

自立活動だより

令和2年1月31日(金)

福島県立聴覚支援学校会津校自立活動係
第5号

会津校の自立活動の紹介

自立活動とは、子どもたちの個々の障がいによる学習上又は生活上の困難を改善・克服するための指導領域で、各教科(国語や算数等)を支える役割を担っています。自立活動は、子どもたちをよく知ることから始め(実態把握)、一人ひとりの実態に合わせて目標や指導内容、指導方法が設定されています。幼児・児童が、自分の障がいをよく知り、つまずきや困難を乗り越えて、よりよく生きていけるように丁寧に指導しています。

会津校では、自立活動における時間の指導はもちろん、学校生活全体(休み時間、他の教科等)の中で密接に関連させながら行っています。一部ではありますが、会津校の自立活動の取り組みを紹介したいと思います。

幼稚部

幼稚部では段階的に補聴器や人工内耳の扱い方や点検についても自分でできることを増やしています。まず丁寧に外したり、装着したりするところから始めた5歳児も、今では人工内耳の点検箇所の名前や点検方法を覚えて登校後に確認する習慣が身につきました。点検後に自分で記録をつけたり、不具合があるときにはお家の人や担任に伝えたりすることも大切な勉強です。



小学部1年

以下の内容を組み合わせ、継続する中で「できた!」「わかった!」を増やしています。

- ① 母音の練習(母音表や50音表を使って**あおうえい**の口形を意識した発声の練習)
- ② 息や舌の練習(わたを吹き飛ばしたり、舌を動かして上歯茎に塗った蜂蜜を舐めたりする練習)
- ③ 聞き取り(音の出る絵本を使い、楽しみながら聞こうとする気持ちと弁別する力を高めます。)
- ④ 指文字を覚える(お手製の指文字かるたを使い、自分で表現したり読み取ったりします。)
- ⑤ トピックス(いつ、だれ、どこ、なに、を意識し身近な出来事についてやりとりします。)

★これらのことを授業の中だけでなく学校生活全体を通して意識してかかわっていくことで、より定着が図られ、コミュニケーション力のアップが促されます。



小学部4年

コミュニケーションをとる上で気をつけることや、意識すると良いことについて学習しています。(例:話題に沿って話を広げる方法、話しかけられた時の返し方、話を聞く時の態度など)

少人数グループのやりとりに参加することができることを目標に、教師も交えて3人程度のグループで実際にやりとりをする機会を設けています。

また、交流先でのやりとりで困った場面や、学校生活での身近な場面を取り上げて、どんな風に答えれば良いかを、ロールプレイを交えながら確認しています。

